

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	La・Puule 住之江	
○保護者評価実施期間	令和7年1月10日	～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	対象者数： 21 人	解答者数： 20 人
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日	～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	対象者数： 9 人	解答者数： 9 人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 10 日	

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動空間の広さ	使用目的に応じて部屋を仕切っている為 児童自身が自分の目的に応じて 部屋を選べるようになっている	集団活動の際、年齢やレベルに応じて 2部屋に分けての実施を目指す
2	プログラム内容の充実	プログラムの種類を多くし、 毎日利用の児童が飽きないようにしている また、滞りなく進行できるよう 必要に応じて打ち合わせを行っている	保護者のニーズに沿ったものや 児童自身が発案してくれる プログラムの内容を今後も増やして 支援に繋げていきたい
3	幅広い年齢層の児童と 関りが持てる	年齢の異なる児童同士が接する機会が多く 「年下の見本になる」「年上の真似をする」で ことで相乗効果が生まれるようにしている	事業所内の児童同士の関りだけではなく 地域のお子様や他事業所のお子様とも かかわりを持つ機会を作る
4	保護者とのコミュニケーション	「送迎時は必ず保護者と会話すること」とし その日の様子、学校からの情報などを伝える。 また職員により保護者からの話の引き出し方も 変わってくるためより多くの情報が聞けるように 送迎職員が固定化しないようにしている	お子様の年齢によっては似た内容の 悩みを抱える保護者の方も居られるので 保護者同士が相談し合えるような 機会を提供していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思わ れること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	保護者同士の関わり	保護者同士が顔を合わせる機会が少なく 保護者参加型のイベントがない	まずは保護者同士が顔を合わせる 機会を作る為に、保護者参加型の イベントなどを企画していく
2	地域との関り	ご家庭へ次月のプログラムを周知する タイミングとの地域のイベント開催情報を知 るタイミングの兼ね合いもあり 地域のイベントにもあまり参加ができていない	まずは公共施設の利用などから 地域のイベントへの参加を目指す
3	「非常時の対策」の周知	マニュアル等をもとに、必要な対策と準備は 行っているが、保護者に対する発信が少なく 評価してもらいにくい状況にある	毎月配布しているお便りなどに 対策情報などを盛り込み より細やかな部分まで知ってもらう